

2011 年度 大学院経済学研究科 先取り科目聴講願

大学院経済学研究科長 殿

政治経済学部	学科	年
学籍番号：	氏名：	

下記科目の聴講を許可願います。

(A群)

選択欄	科目名	担当教員名	単位	学期	曜日	時限
	ミクロ経済学 I	内藤 匠	2	春学期	月	1 時限
	マクロ経済学 I	森 映雄	2	秋学期	土	2 時限
	経済史方法論	大森 一宏	2	春学期	金	6 時限
	政治学研究方法 (経験)	久米 郁男	2	春学期	金	1 時限
	政治学研究方法 (規範)	谷澤 正嗣	2	春学期	水	2 時限
	Microeconomics I	SHIMIZU, Kazumi	2	秋学期	火	1 時限
	Macroeconomics I	YABUSHITA, Shiro	2	春学期	木	6 時限
	経済数学 II (上級)	西原 健治	2	秋学期	金	3 時限
	ミクロ経済学 II	上條 良夫	2	春学期	水	6 時限
	Macroeconomics II	SASAKURA, Kazuyuki	2	春学期	火	1 時限
	マクロ経済学 II	金子 昭彦	2	秋学期	木	1 時限
	Microeconomics II	OGINUMA Takashi	2	秋学期	月	6 時限

(B群)

選択欄	科目名	担当教員名	単位	学期	曜日	時限
	経済数学 I (線形代数基礎)	井上 淳	2	秋学期	月	4 時限
	経済数学 I (解析学基礎)	瀧澤 武信	2	春学期	月	3 時限

※科目名が空欄になっている行には、経済学研究科の講義要項・時間割を参照の上、履修希望の専修科目・特論科目および経済学文献研究の科目名等を下記の例のとおり記入し、選択欄に○を付してください。

例)「科目名:経済統計、担当教員名:野口 和也、単位:2、学期:春学期、曜日:木、時限:2」

※履修上限単位数

- ・ 3年次までの修得単位数が 96-105 単位の場合 : 10 単位まで履修可能
- ・ 3年次までの修得単位数が 106 単位以上の場合 : 16 単位まで履修可能 (3年卒業予定者を含む)

## 2011 年度 大学院先取り科目の履修について

大学院経済学研究科

### 【大学院先取り科目】

選択	科目名	担当教員名	単位	学期	曜日	時限
	ミクロ経済学Ⅰ	内藤 匠	2	春学期	月	1 時限
	マクロ経済学Ⅰ	森 映雄	2	秋学期	土	2 時限
	経済史方法論	大森 一宏	2	春学期	金	6 時限
	政治学研究方法（経験）	久米 郁男	2	春学期	金	1 時限
	政治学研究方法（規範）	谷澤 正嗣	2	春学期	水	2 時限
	Microeconomics I	SHIMIZU, Kazumi	2	秋学期	火	1 時限
	Macroeconomics I	YABUSHITA, Shiro	2	春学期	木	6 時限
	経済数学Ⅱ（上級）	西原 健治	2	秋学期	金	3 時限
	ミクロ経済学Ⅱ	上條 良夫	2	春学期	水	6 時限
	Macroeconomics II	SASAKURA, Kazuyuki	2	春学期	火	1 時限
	マクロ経済学Ⅱ	金子 昭彦	2	秋学期	木	1 時限
	Microeconomics II	OGINUMA Takashi	2	秋学期	月	6 時限
	経済数学Ⅰ（線形代数基礎）	井上 淳	2	秋学期	月	4 時限
	経済数学Ⅰ（解析学基礎）	瀧澤 武信	2	春学期	月	3 時限
	各専修科目、特論科目 A・B	講義要項参照				
	各経済学文献研究（A・B）	講義要項参照				

【科目登録日】 4/13(水)-4/15(金) 9:00~17:00

【登録場所】 大学院経済学研究科事務所

【提出物】 大学院先取り科目聴講願（所定用紙）※4月以降、研究科事務所窓口で配布します。  
成績通知書または成績証明書（コピー可）

【登録結果発表】 4月18日（月）※メールにて通知（事務所でも通知書を配布します。）

【履修要件】：先取り科目の履修にあたって、次の3条件すべてを満たしていなければならない。

- 履修年度に本学部実質学年4年次以上の学生であること。（本学部3年卒業制度に申請済の者を含む）
- 履修年度以前に本学部が設置している「経済学入門A・B」（国際政経の学生は「ミクロ経済学入門」・「マクロ経済学入門」）、「ミクロ経済学 $\alpha$ ・ $\beta$ 」、「マクロ経済学 $\alpha$ ・ $\beta$ 」、「経済数学入門A・B」（もしくはそれらの上位科目に位置づけられるもの。不明な点は経済学研究科事務所までお問い合わせください）の単位を取得済であること。
- 履修年度以前に96単位以上を取得済みであること。（本学部3年卒業制度に申請済の者は、2年終了次までに80単位以上取得済みであること）

### 【履修時の注意】

- 学部在学中に履修できる先取り科目単位数は10単位を上限とする。ただし、履修年度以前に106単位以上修得している場合、履修単位の上限は16単位（修士1年終了資格審査への応募希望者は別紙「修士課程」1年修了資格審査への応募条件をよく読んで下さい）とする。なお、本学部3年卒業制度に申請済の者も16単位履修登録を行なうことが出来る。
- 登録に際しては、経済学研究科学生の履修が最優先される。
- 「ミクロ経済学Ⅱ」「マクロ経済学Ⅱ」は、政治経済学部との合併科目のため、学部の「応用ミクロ経済学」「応用マクロ経済学」として科目登録を行なうと、修得単位は学部の卒業参入単位となり、修得した単位は経済学研究科では認められません。経済学研究科の単位もしくは修士課程1年修了を希望する場合、必ず4年次以上において経済学研究科事務所で「ミクロ経済学Ⅱ」「マクロ経済学Ⅱ」として科目登録を行なうこと。

### 【経済学研究科入学後の単位の取扱い】

修得単位は当該研究科に進学後、学部における履修後3年以内に限り、入学時の本人申請により既得単位として認定する。なお当該研究科進学後は、認定された科目を再度履修することは出来ない。

以上

## 2011年度 経済学研究科 修士課程 1年修了資格審査への応募条件

### 応募条件：

- ①2012年度修士課程推薦入試合格者のうち、政治経済学部卒業予定者。
- ②政治経済学部ゼミに所属し、提出したゼミ論文（コピー可）を、1年修了資格審査への応募時（2012年1月11日）に提出できること。
- ③政治経済学部3年次終了までに106単位以上修得済であること。（3年卒業制度に申請済の者を含む）
- ④当研究科所定の「先取り科目」を、政治経済学部卒業までに16単位修得していること（推薦入試出願時点では修得見込でも可）。ただし、成績評価が全てB以上であること。

以上①～④の条件すべてに該当する者

※経済学研究科修士課程の推薦入学試験の出願期間は、2011年4月22日(金)～28日(木)です。

推薦入試説明会は2011年4月11日(月)12:15～を予定しています。詳細は本研究科掲示板・HPでご確認下さい。

### －経済学研究科先取り科目について－

以下のA群、B群それぞれより、合計16単位を修得（出願時は見込で可）すること

- ①進学希望のコース（国際政治経済学コース etc）もしくは専修（経済史専修）の必修科目（下記参照）に応じ、以下の科目より2～8単位を修得すること。

科目名	担当教員名	単位	学期
ミクロ経済学Ⅰ	内藤 匠	2	春学期
マクロ経済学Ⅰ	森 映雄	2	秋学期
経済史方法論	大森 一宏	2	春学期
政治学研究方法（経験）	久米 郁男	2	春学期
政治学研究方法（規範）	谷澤 正嗣	2	春学期
Microeconomics I	SHIMIZU, Kazumi	2	秋学期
Macroeconomics I	YABUSHITA, Shiro	2	春学期
経済数学Ⅱ（上級）	西原 健治	2	秋学期
ミクロ経済学Ⅱ	上條 良夫	2	春学期
Macroeconomics II	SASAKURA, Kazuyuki	2	春学期
マクロ経済学Ⅱ	金子 昭彦	2	秋学期
Microeconomics II	OGINUMA Takashi	2	秋学期

- ②以下の科目より8～12単位を修得（ただし、指導教員として志望する教員の専修科目(※)を必ず履修すること）。

科目名(B群)	単位	学期
<b>専修科目</b> ※専修名と同一名称の科目（例）金融論、理論経済学など。 ※専修科目の詳細は、経研事務所に問合せ下さい。	2	春学期 or 秋学期
<b>経済学文献研究、特論科目</b> 例）英米経済学文献研究（A）、国際経済論特論（B）など。	各2	A:春学期 B:秋学期
経済数学Ⅰ（線形代数基礎）	2	春学期
経済数学Ⅰ（解析学基礎）	2	秋学期

その他の詳細および講義要項の閲覧の際は、経済学研究科事務所までお越し下さい。

#### 経済学研究科修士課程－専修別必修科目－

- (1) 経済学コース：下記AおよびBの両方を満たすこと（経済史領域の学生（(2)参照）を除く。
- (2) 経済史領域：下記A～Cのうちどれか一つを選択し、単位修得すること。
- (3) 国際政治経済学コース：下記AおよびBの両方を満たすことに加え、政治学研究方法（経験）、政治学研究方法（規範）の単位修得。

A：ミクロ経済学に関する科目：ミクロ経済学ⅠもしくはMicroeconomics I。もしくは、上級科目のミクロ経済学ⅡかMicroeconomics IIを修得すれば必修単位に充当できる。

B：マクロ経済学に関する科目：マクロ経済学ⅠもしくはMacroeconomics I。もしくは、上級科目のマクロ経済学ⅡかMacroeconomics IIを修得すれば必修単位に充当できる。

C：経済史に関する科目：経済史方法論

※「ミクロ経済学ⅠとMicroeconomics I」「マクロ経済学ⅠとMacroeconomics I」は、重複履修不可（一方を随意科目としての履修は妨げない）。